

令和7年度 第3回「未来をつくる こどもまんなかアワード」受賞者 未来へつなぐ「応援団部門」

| 表彰種別 | 受賞者名等 | 活動の概要 | 活動の様子 |
|----------------------|---|---|---|
| 内閣総理大臣 表彰 (1件) | 特定非営利活動法人 こまちぶらす 所在地:神奈川県横浜市 代表者:理事長 森 祐美子 活動期間:2012年2月から | <p>○様々な人が自由に足を運び参画できるカフェ型の居場所を運営し、こどもの発達に不安を持つ保護者、子育てと介護のダブルケアに直面している人、不登校・ひきこもりのこどもを持つ保護者などが情報交換できる場の提供、様々な環境下にある子育て家庭の声を素材としたワークショップを行っている。また、同様の取組が全国に広がるよう、全国各地でカフェ型居場所の運営の講座・インターンプログラムを実施している。</p> <p>○出産祝いを、地域の多世代の人々(こども世代から高齢者世代まで)や企業・商店と協働して届ける事業にも取り組み、まち全体でこどもの誕生を祝福する風土の醸成に貢献している。</p> <p>※具体的な活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カフェ型居場所(こまちカフェ・こよりどうカフェ)の運営 ・でこぼこの会(こどもの発達に不安を持つ保護者等の集い)、ケアラズカフェえんがわ、ほっとひと息金曜日/ただい間のおうち(小中高世代の不登校、ひきこもりのこどもを持つ保護者等の集い)の運営 ・まちからの出産祝いのお届け ・ワークショップ |  <p>こまちカフェの様子</p>  <p>ウェルカムベビープロジェクトの出産祝い</p> |
| 特命担当大臣 表彰 (2件) | <p>1</p> <p>NPO法人 河原部社</p> <p>所在地:山梨県韮崎市 代表者:理事長 西田 達 活動期間:2016年9月から</p> | <p>○山梨県初の中高生のためのユースセンター「ミアキス」を企画運営。地域の60%の中高生が登録し利用しており、ユースセンターのロールモデルとして、これまでに150以上の視察を受け入れている。</p> <p>○高校生対象のアイデアコンテストを実施し、生徒の興味関心を広げ、才能を見付ける手助けしているほか、これまでに80社の地域企業の協力を得るなど、中高生と地域の資源の接続を行うなど、若者が活躍できる機会の創出にも貢献している。</p> <p>○「ミアキス」を利用していた若者が、進学や就職を経て、地元に戻ってまちづくりや起業に携わるケースも増えてきているなど、地域への人材の還流を生み出している。</p> <p>※具体的な活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中高生の拠点Miacis(ミアキス)の運営 R6度 年間登録者数:1,862名 延べ利用者数:約10,426名 ・アイデアコンテスト「SPARK」開催 |  <p>ユースセンター「ミアキス」の様子</p>  <p>高校生アイデアコンテストの様子</p> |
| | <p>2</p> <p>特定非営利活動法人 光希屋(家)</p> <p>所在地:秋田県大仙市 代表者:理事長 ヨン・キム・フォン・ロザリン 活動期間:2013年11月から</p> | <p>○不登校・ひきこもり当事者やその家族の居場所の運営や、オープンチャットを用いた支援を行っている団体。スタッフの多くは過去に不登校やひきこもり等を経験している。</p> <p>○県内の駅前広場で「ほほえみの場」ブースを設け、対象者を限定せずに悩みや雑談に耳を傾ける活動を行っているところ、本活動は秋田大学大学院における「傾聴ボランティア養成講座」の実践の場としても活用されており、また、地域の教職員を対象とした不登校の支援の在り方等に関する研修会を実施するなど、将来のひきこもりや自殺予防の支援者の養成にも力を入れている。</p> <p>※具体的な活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大仙市子ども・若者総合相談センター「ふらっと」の運営受託 ・ほほえみの場プロジェクト(傾聴ボランティア活動) ・こども食堂 毎週土曜日 ・教育現場との連携等(教職員を対象とした研修会) |  <p>大仙市子ども・若者総合相談センター「ふらっと」の様子</p>  <p>「ほほえみの場プロジェクト」の様子</p> |